



愛川ふれあいの村 今月の風景

2021年4月 自然のたより

あたたかな陽気に誘われて、植物はたくさんの花を咲かせました。3月から咲いていたミツマタにカタクリが咲き続けます。ウワミズザクラやランが数種類と、目まぐるしく咲く花たちに観察が追いつかないほどです。

そして、今月も新発見がありました。マルバスミレとササバギンランです。愛川ふれあいの村は植物の宝庫。植物の種類が多いとそれを食べに虫が集まります。虫が豊富だとそれを食べに鳥がやってきます。イワツバメとツバメも飛び交います。豊かな生態系を織りなす村を今年度もよろしくお願いします。(石川)



キンラン



ササバギンラン



バッコヤナギ (ヤマネコヤナギ)



ミツマタ



ウワミズザクラ



ギンリョウソウ



貴重なメギ



カヤラン



コツバメ



シジュウカラ



エビネ



マルバスミレ



ツリバナ



トウゴクミツバツツジ



フデリンドウ

トピックス★花蜜強奪犯は誰だ?!★

桜前線はあっという間に通り過ぎ、どんどん北へ向かっています。風の強い日などは花吹雪で路面がピンク色に染まり、何とも春爛漫を感じます。

先日、変わった光景に出会いました。ほとんどの桜は花びらがひらひら舞っているのに、ある木だけ花びらではなく、花が地面にたくさん落ちています。その桜の木の下では女の子がお母さんと一緒に掌一杯に花を拾い集めています。見ているとさらに樹上から花がくるくる回りながら何個も落ちてきます。

これは、スズメによる『盗蜜』といわれる行動です。メジロやヒヨドリが桜の蜜を吸うのはよく知られていますが、スズメもその恩恵にあずかろうと桜の木にやって来ます。でもスズメの嘴は太くメジロやヒヨドリのとんがった嘴のように上手く蜜をすえません。どうにか美味しい蜜を手に入れることができないものか?そこに賢いスズメが現れます。「だったら太い嘴でガクごと花をちぎって蜜を手に入れればいい」。上手くいったこの行動はここ数年であっという間に広がりあっちこっちで花がポトポト落ちるようになったのです。丸ごとポトリと落ちた桜の花を見つけたら上でチュンチュン鳴いているスズメが見つかるかも知れません。(高梨)



生き物 ★キンラン★

ランと言えば、お花好きには人気の植物です。その人気故に家で楽しみたいと思う人も少なくはありません。

1本くらい持って行っても?と思い、持って帰る…何人がそう考えているのでしょうか。その1本が知らないところで、何百と広がるかもしれません。

そんな方への朗報となるかは分かりませんが、植物園によってはキンランの無菌栽培の実験をしているところもあります。そうした成功例が増えて、大量生産が可能になれば、家でキンランが楽しめる日が来るかも知れませんね。野生の花は生えている場所で楽しみましょう。(石川)

※販売化はあくまでも個人の想像です。



旬 ★怪獣『アミガサタケ』★

まるでウルトラマンシリーズに登場する怪獣や宇宙人のような茸(キノコ)、アミガサタケはレッドキングに似ています。同じ仲間で頭がとんがっているトガリアミガサタケは、バルタン星人にそっくりです。山で見かけたら、その姿かたちゆえちょっとよけて通り過ぎたい茸ですが、茸ハンターには、春告茸としてとても人気があります。イタリアやフランスなどでも人気があり、クリームパスタやシチューにして美味しく食べられているそうです。残念ながら市場にはなかなか出回りませんが、ぜひ、インターネットなどで検索してみてください。村ではそんな春の茸や山菜も観察出来ます。(高梨)



トガリアミガサタケ



アミガサタケ



来月の見どころ **愛鳥週間に思う**
吹く風も爽やかな過ごし易い季節になった。桜前線が山を越え、山々が萌黄色から若草色に染まり夏鳥たちの様々なコーラスが木々の間を心地よく通り過ぎていく。声の主は、キビタキやオオルリ、クロツグミなどで、時々センダイムシクイが「チヨチヨビー」と小気味よく鳴く。この鳴き声を「焼酎一杯クワイ」と聞きなし、みんな一杯やろうなどと話はずむ。センダイムシクイは見つけにくい鳥だ。目立つ所にあまり出てこないし、色も黄緑色で周囲に紛れてしまう。鳴き声もそんなに大きくなく、この声で聞こえる人は耳が良いと言われる。「キヨコキヨコ、キヨロンキヨロン」遠くからクロツグミの声が聞こえる。双眼鏡で探すと高い枝の上で大きな声で囀る黄色い嘴をしたクロツグミがいた。鳥は気持ち良い時に一本足立ちし、囀りや居眠りをするところがあるが、クロツグミも今の季節を喜んでいる。五月十日～十六日は愛鳥週間。最近鳥が少なくなつたと聞く。人間生活が最先の社会、開発行為で森林が減少している影響だ。愛鳥週間に相応しく鳥たちの地球であることも忘れないでほしい。(吉田)